

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 市民会館整備事業
-------------------	-----------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む
施策	1	市民の文化・芸術活動の育成・支援
小分類	1	市民文化活動の活性化
主要な施策	4	施設の整備
事務事業番号	001	事務事業コード 53114001 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	市民会館整備事業費
------	------	------------	-----------

部 名	教育部	グループ名	社会教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 市民会館の利用者
手 段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 老朽化している市民会館の外壁について、ひび割れなどの改修を行うほか、全面塗装を行う。 また、屋上に一部設置されているトタン屋根の葺き替えを行う。 <事業内容> ・外壁塗装工事 欠損部補修、鉄筋腐食処理、下地処理、アクリル吹付け、屋上屋根塗装
目 指 す 姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 市の主要な集会施設である市民会館を整備することにより、市民が安全・安心に文化活動を展開できる環境を整える。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標		人	目標値	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000
			実績値	85,578				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称 地域活性化・生活対策臨時交付金	千円	27,516					0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円	35,400					0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	32	5,700	4,000	33,421	42,488	79,909
合 計				62,948	5,700	4,000	33,421	42,488	79,909
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	4,065	173			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計	4,065	173				

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
多くの市民が利用する施設であり、不具合箇所の修繕も含め、利用しやすい環境を整えることが必要である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
今回の改修により、外壁の亀裂等が改善されたことにより施設の延命化が図られた。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？
今後についても、不具合箇所の早期発見、整備を進めていくことにより、利用しやすい環境を確保できる。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？
施設の老朽化が進んでいるため、簡易補修では対応しきれない箇所も増加している。今後の整備については、最低限の部分補修・追加だけでなく、将来を見据えた施工が必要であることから、コストの削減は難しい。			

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	今回は交付金を活用し実施したのだが、このほかにも整備が必要な箇所が多数あることから、今後についても、交付金等の有利な情報を集めながら計画的に整備を実施していく。
----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）